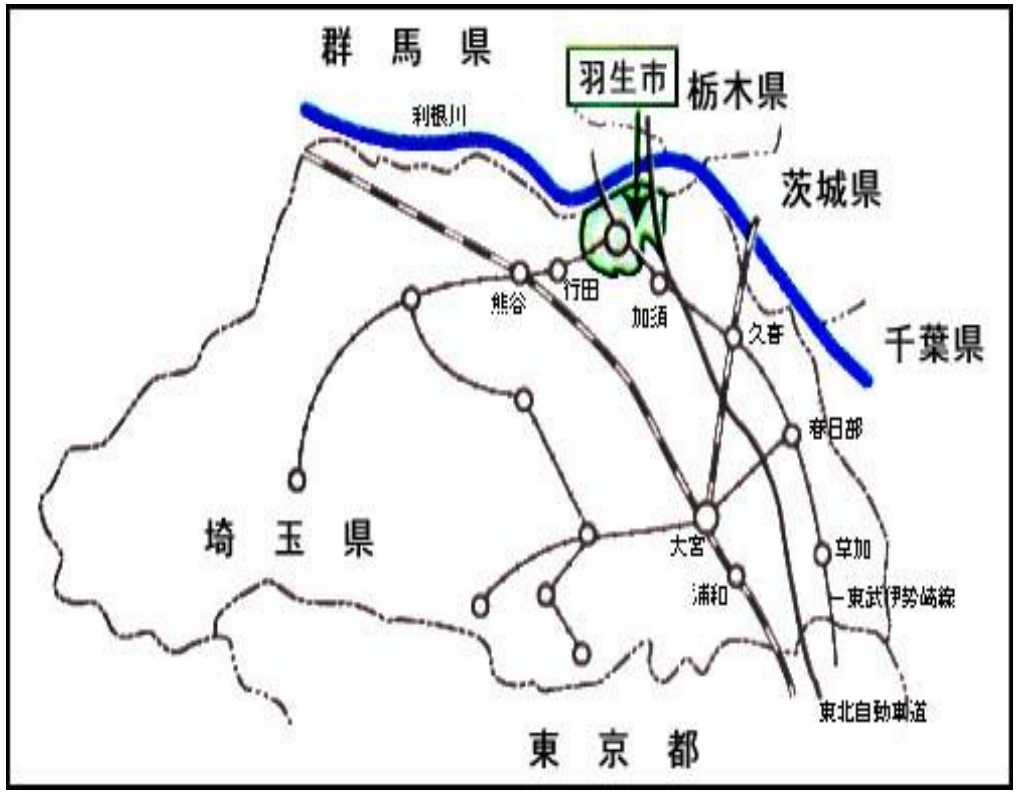
発達障害について
～保健師の立場から～

羽生市役所健康づくり推進課
保健師　木村　沙紀

羽生市の概要

・**人口**（令和2年10月1日現在）
54,416人
（男性：27,233人、女性：27,183人）
・**出生数**　295人（令和元年度）

【保健師数：14名】
・健康づくり推進課：9名
・高齢介護課：3名
・育休中：2名



母子保健事業の流れ

出産 → 赤ちゃん訪問 → 4カ月児健康診査 → 10カ月児健康診査 → 1歳6カ月児健康診査 → 2歳児歯科健診 → 3歳児健康診査 → 5歳児健診

すくすくママサロン → 乳児相談

電話相談 ・ 面談 ・ 訪問

理学相談・言語相談・発達（親子）相談・巡回相談

予防接種

要フォロー児の把握方法

乳幼児健康診査

問診票の内容、発育・発達、養育状況、生活の様子、保護者の心配事や困り等確認

乳幼児健診終了後、カンファレンスを実施し、フォローの方針検討

電話相談

言葉の遅れ、多動、発達が気になる、保護者の関わり方に問題がある等状況を把握

フォロー事業へ

★フォロー事業★

事　業　名	内　　容	ス　タ　ッ　フ
理学相談	運動発達に心配のあるお子さん体の使い方等を助言	理学療法士・保健師
言語相談	言語発達に心配のあるお子さんに発声の仕方や口の使い方などを助言	言語聴覚士・保健師
発達相談	発達の相談・助言	公認心理師・保健師
親子教室	小集団のフォロー教室	公認心理師・保健師
巡回相談	幼稚園、保育所・園に巡回し発達確認	公認心理師・理学療法士・医師・保健師

令和元年度実績

事業名	実施方法	実施延回数	参加延人員（実人員）
理学相談	個別	12回	46人（21人）
言語相談	個別	24回	160人（32人）
発達相談	個別	9回	19人（18人）
親子教室	集団	22回	162人（14人）
巡回相談（保健師）	集団	6回	34人（34人）
（理学療法士）	集団	3回	39人（39人）
（臨床心理士）	集団	14回	178人（120人）

☆関係機関との連携☆

対象児
及び
家　族

- 健康づくり推進課
- 子育て世代包括支援センター
- 子育て支援課
- 学校教育課
- 医療機関・療育施設
- 保健所
- 社会福祉課
- 幼稚園、保育所・園

発達障がい児･者支援者調整会議

〇目的

発達障害児・者支援を行う関係機関が互いに情報交換し、
連携した支援を行うため

〇開始時期

平成24年から

〇関係部署

健康づくり推進課、社会福祉課、子育て支援課、学校教育課

〇回数

年１～２回

発達障がい児･者支援者研修会

○目的

発達障がい児・者の支援者が、発達障がいに対する理解や対応スキルを高める。

○対象者

保育園（所）・幼稚園・小学校・中学校の先生

○令和元年度実績

参加者：42名

今までの研修内容

〇平成29年度

『教育・保育実践における発達支援実務者の可能性を開く「見方」「考え方」』

講師：埼玉県立大学保健医療福祉部　共通教育課准教授　森　正樹氏

〇平成30年度

「発達に特性を持つ子どもの保護者への関わり方と伝え方

～保護者の立場から思うこと～」

講師：埼玉県自閉症協会　会　　長　小材　由美子氏

事務局長　竹田　由香里氏

〇令和元年度

「親子の育ちを支えるという視点について～子どもを支援する人たちへ～」

講師：毛呂病院光の家　鈴木　郁子医師

ご清聴ありがとう
ございました。